

Tamae Hirokawa Exhibition "Design of SKIN"

# 廣川玉枝



## 関連イベント

アーティストトーク

廣川玉枝 × 林信行 (ジャーナリスト)

日時 | 11月4日 (月\_振休) 14:00-15:00

参加費 | 無料 ※要申し込み

イベントの詳細は FAS のホームページでご確認ください。

## 交通案内

電車 | JR「辻堂」駅東口改札 北口出口から徒歩 5 分

バス | 神奈川中央交通「神台公園前」下車すぐ

※FAS 専用駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

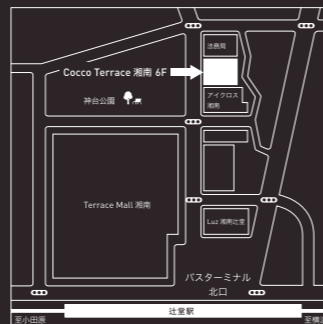
## 問い合わせ先

〒251-0041

神奈川県藤沢市辻堂神台 2-2-2 Cocco Terrace (ココテラス) 湘南 6F

TEL: 0466-30-1816

E-mail: fj-art@city.fujisawa.lg.jp



2024. 10. 5 [SAT] — 12. 22 [SUN]  
10:00 — 19:00 (入場は 18:45 まで)

休館日 | 月曜日 ※ただし 10/14 (月\_祝)・11/4 (月\_振休) は開館、翌 10/15 (火)・11/5 (火) は休館

観覧料 | 無料

会場 | 藤沢市アートスペース

主催 | 藤沢市 藤沢市教育委員会

後援 | 神奈川新聞社 株式会社ジェイコム湘南・神奈川 レディオ湘南

協力 | 公益財団法人藤沢市みらい創造財団 一般財団法人藤沢市開発経営公社 株式会社ブルド





## Tamae Hirokawa Exhibition “Design of SKIN”

廣川玉枝は、2006年にブランド「SOMARTA」を立ち上げて以降、時代を超えて長く生き続ける普遍の美を探究するものづくりを目指し、「身体における衣服の可能性」をコンセプトに無縫製ニット「スキン シリーズ」の研究開発に取り組んできました。

廣川は、人類すべてが生まれた時から纏っている皮膚を「第一の皮膚」と捉え、「第一の皮膚」そのものの存在に近い「第二の皮膚」を目指した衣服として「スキン シリーズ」をデザインしました。「スキン シリーズ」は無縫製ニットの技術を用いてつくられた機能性と美しさを兼ね備えたプロダクトであり、国や人種、性別や体型など全てを超越した人類共通の「世界服」になると廣川は考えたのです。「スキン シリーズ」は、皮膚のように伸縮し、身体の伸びやかな動きを妨げない為、レディ・ガガをはじめとする国際的に活躍するアーティストやコンテンポラリーダンサーなど身体の動きで魅せるパフォーマーの衣装として愛されています。また、アシックスと協業しTOKYO2020 オリンピック・パラリンピックのスポーツウェアのデザインを手がけたことでも話題となりました。廣川の「皮膚」をデザインする活動は、衣服だけにとどまらず、椅子、自動車、空間、地域を巻き込んだ祭へと大きな発展を遂げてきました。

本展では、廣川の「皮膚のデザイン」の思考を紐解きます。「スキン シリーズ」の展示を中心に、あらゆるものを身体に見立てボーダレスなデザイン活動を行う廣川の創造の軌跡を、出身地である藤沢の地においてぜひご覧ください。



1

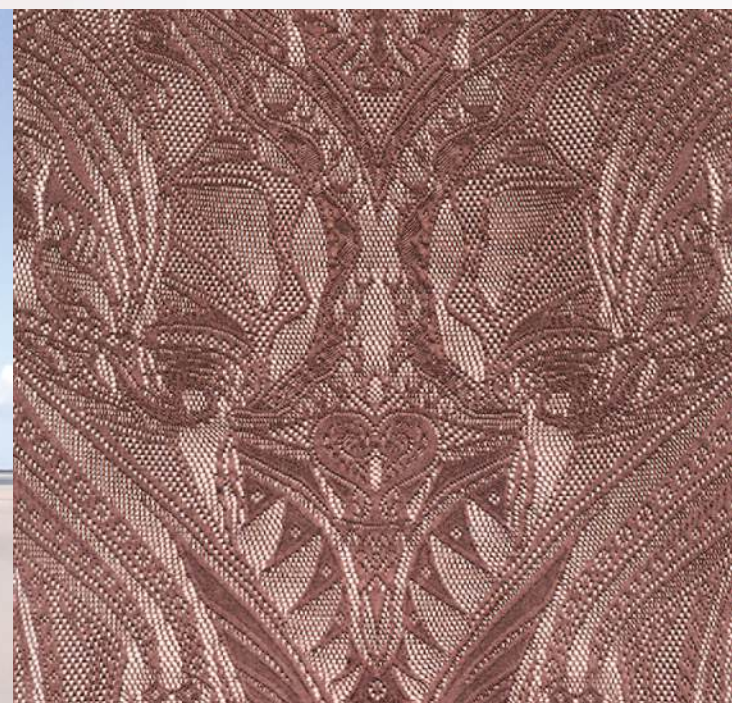
# 皮膚の



5



4



2

表面. Skin series “Capera”, 2012  
「身体における衣服の可能性」をコンセプトに研究開発を続ける世界服「スキン シリーズ」

1. Skin series “ATLAS”, 2018  
「スキン シリーズ」は人種、性別、体型を問わず身体の動きに追従する「第二の皮膚」

2. Skin series “TRIBAL-SOMA”, 2007  
「スキン シリーズ」は細胞のように集まる大小の編み目による伸縮自在な無縫製のニット

3. Skin series “TRIBAL-RABI Bijou”, 2014

4. Skin series “TRIBAL-SOMA Bijou”, 2014

機械で編んだ文様に合わせ、職人の手仕事でビーズ刺繍を施したデジタルクチュール

5. “Skin & Bone Chair”, 2008

スチールの骨格に皮膚を着せることで新たなフォルムを手に入れた椅子

photo:

表面, 1, 3, 4 / SINYA KEITA (ROLLUPstudio.)

2, 5 / Takeshi FUKUI (SOMA DESIGN)

©SOMA DESIGN

廣川 玉枝 | Tamae Hirokawa

クリエイティブディレクター / デザイナー

2006年『SOMA DESIGN』を設立。同時にブランド「SOMARTA」を立ち上げ東京コレクションに参加。第25回毎日ファッション大賞新人賞・資生堂奨励賞受賞。単独個展『廣川玉枝展 身体の系譜』の他 Canon『NEOREAL』展 / TOYOTA『iQ×SOMARTA MICROCOSMOS』展 YAMAHA MOTOR DESIGN『02 Gen-Taurus』など企業コラボレーション作品を多数手がける。2017年 SOMARTA のシグニチャーアイテム『Skin Series』が MoMA に収蔵される。2018年『WIRED Audi INNOVATION AWARD』を受賞。2021年東京オリンピックの表彰台ジャケットをアシックスと共同開発し話題を呼ぶ。同年12月、大分県別府市で開催された芸術祭『in BEPPU』にアーティストとして招聘され『廣川玉枝 in BEPPU』を開催、市民とともに作り上げる新たな祭作品を発表。

<http://www.somarta.jp>

# デザイン